

書道博物館開館90周年記念

ナカ ムラ フ セツ

中村不折と書道博物館

―不折のおたから大公開!―

晉王獻之地黃湯帖



新婦昨地黃湯帖

2026年7月18日(土)-12月13日(日)

前期 ①7月18日(土)～8月23日(日) ②8月25日(火)～9月27日(日) 後期 ③10月6日(火)～11月8日(日) ④11月10日(火)～12月13日(日)

〈開館時間〉9:30～16:30 (入館は閉館の30分前まで)

〈休館日〉月曜日、7月21日(火)、9月24日(木)、10月13日(火)、11月24日(火)
9月28日(月)～10月5日(月)は、展示替え及びメンテナンスのため休館
※ただし、7月20日(月・祝)、9月21日(月・祝)、10月12日(月・祝)、
11月23日(月・祝)は開館

〈入館料〉一般・大学生 500円(300円)、小・中・高校生 250円(150円)
()内は20名以上の団体料金

自慢のおたから
全力展示!

- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定疾患医療受給者証の提示者とその介護者は無料です。
- 台東区内在住・在学の小学生・中学生・高校生(18歳に達する日以後の最初の3月31日まで)は、入館料が無料となります。
入館の際は、身分証明書を提示してください。

〔図版〕地黄湯帖 王献之筆 原跡:東晋・4世紀 後期③



- JR鶯谷駅北口より徒歩5分
- 台東区循環バス「北めぐりん」③書道博物館より徒歩3分
- ※駐車場はありません



書道博物館
CALLIGRAPHY MUSEUM

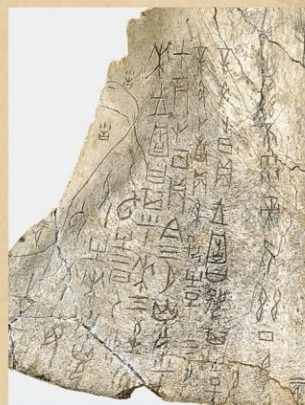
〔主催〕(公財)台東区芸術文化財団
〔住所〕〒110-0003 東京都台東区根岸2-10-4
〔電話〕03(3872)2645
〔ウェブサイト〕<https://www.taitogeibun.net/shodou/>

次回特別展のご案内
宋時代の眼差し、宋時代への憧憬(仮称)
連携企画第24弾! 2027年1月5日(火)～3月22日(月・振休)

中村不折と書道博物館

―不折のおたから大公開!―

- 前期 ① 7月18日(土)〜8月23日(日)
後期 ③ 10月6日(火)〜11月8日(日)
- ② 8月25日(火)〜9月27日(日)
④ 11月10日(火)〜12月13日(日)



甲骨文(第一期)
殷・前13世紀
通期(本館展示)



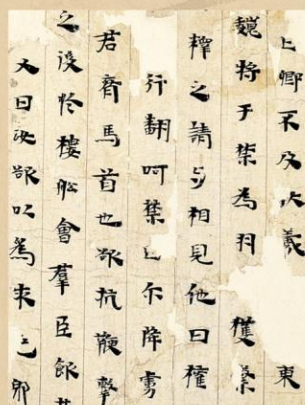
石鼓文-安国本-
戦国・前5〜前4世紀
後期③④



西嶽華山廟碑-長垣本-
後漢・延熹8年(165)
後期③



重要文化財 法句譬喻經卷第三殘卷
前秦・甘露元年(359)
前期①



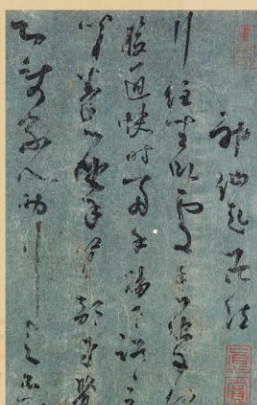
重要文化財 東郷不折大藏
三国志呉志第十二残卷
北朝・5世紀
後期④



九成宮醴泉銘 歐陽詢筆
唐・貞觀6年(632)
後期③



勅國諸為天下之本
導乃元良之教將
本固必由教先非求
賢何以審諭光祿
自書告身帖 顏真卿筆
唐・建中元年(780)
前期①



神仙起居法卷 楊凝式筆
五代十國・乾祐元年(948)
前期②

関連イベント

▶ キッズセミナー (対象: 中学生まで)

「フセツくんのたからもの」

日時: 8月2日(日) 11:00〜12:00

当日参加型(事前申込不要、要入館料)

※台東区内在住・在学の高校生以下の方は入館料無料

ギャラリートーク

▶ 「中村不折コレクションの魅力」

定員: 各回20名

(事前申込不要、当日先着順にて整理券配布、要入館料)

イベント	日 時
ギャラリートーク	8月16日(日) ①10:00 ②11:00 ③14:00 各回50分
上野の山文化ゾーンフェスティバル ギャラリートーク	9月6日(日) ①11:00 ②14:00 各回50分
上野の山文化ゾーンフェスティバル ギャラリートーク	10月18日(日) ①11:00 ②14:00 各回50分
書道博物館バースデー ギャラリートーク	11月3日(火・祝) ①10:00 ②11:00 ③14:00 各回50分

▶ ワークショップ

「不折コレクションの名品に挑戦!」

日時: 8月16日(日)、9月6日(日)、10月18日(日)、11月3日(火・祝)

いずれも9:30〜16:00(事前申込不要)

※要材料費: うちわ300円、色紙100円

▶ バースデープレゼント

11月3日(火・祝)の書道博物館バースデーに入館された方全員にプレゼントを進呈!!

至今乃愁感矣隱之持多事萬端不
己招萬罪殃福響應不能分別所
若畫瓶內滿不淨臭膿血猶如草
不淨不知內外身當歸盡常以鉢
廉自謂端政類貌尤雙不察九孔
斯人之等羅網所經莫能觀身辟
惱不現雅有道士觀世俗人迷惑如
計身誇觀一切擾擾絃絃但誇四
事福從口出千殃萬罪還自纏繞
念怒成仇皆由貪起競誇利欲羣

四自侵經(五月一日經)
奈良・天平12年(740)

後期④

觀自在菩薩摩訶薩若彼羅密多時
慈心念之(一)若彼羅密多時
與名(二)即覺空王即覺空王
是舍利子覺空王即覺空王
不增不減是即覺空王即覺空王
耳鼻舌身意是即覺空王即覺空王
無色識界是即覺空王即覺空王
亦無是即覺空王即覺空王
斯時諸菩薩摩訶薩依般若波羅蜜
多觀自在菩薩摩訶薩即覺空王

心經 伝空海筆
平安・弘仁12年(821)

前期①

昭和11年(1936)、ここ根岸の地で開館した書道博物館は、令和8年(2026)11月3日に開館90周年を迎えます。画家・書家であった中村不折(1866〜1943)は、その半生40年あまりにわたり、東洋の美術品を独力で収集しました。コレクションを保存・公開するために、後年、自宅の敷地内に博物館を設立します。博物館建設に伴う費用と、コレクションの購入費は、すべて不折自身の絵画や書作品の潤筆料から捻出しました。

昭和20年(1945)の東京大空襲で根岸一帯が焼け野原となった際にも、書道博物館は焼失を免れ、貴重な文化財が今日まで保存されています。

本展は、開館90周年を記念して書道博物館の名品を一挙公開し、博物館の歴史もあわせて紹介いたします。不折が収集した文化遺産を通して、その確かな眼と、注がれた情熱をぜひ感じ取ってください。